

第32回甲賀市水道事業審議会 概要報告

1. 開催日時 平成29年2月17日（金）
午後14時00分から午後16時30分まで
2. 開催場所 甲賀市役所甲南庁舎 1階 第1会議室
3. 議 題
 - ・ 会長、副会長の選任
 - ・ 甲賀市の水道事業概要
 - ・ 審議
 - ① 平成28年度甲賀市水道事業会計決算見込について
 - ② 平成29年度甲賀市水道事業会計予算（案）の概要について
 - ③ 甲賀市水道事業経営戦略について
 - ・ 会議内容の公開、非公開について
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者
 - 委 員 村山委員、大治委員、風岡委員、松井委員、植西委員、
高橋委員、高山委員、奥出委員 以上8名
 - 岩永市長 （途中 退席）
 - 事務局 上下水道部 西野部長、橋本理事、小嶋次長
上水道課 富田課長、藤田課長補佐、山川課長補佐
上下水道総務課 奥田課長、掛田課長補佐、緩利係長
6. 傍聴者数 0人
7. 会議資料 資料1 平成28年度甲賀市水道事業会計決算見込について
資料2 平成29年度甲賀市水道事業会計予算（案）の概要について
資料3 甲賀市水道事業経営戦略について
別冊 甲賀市水道事業経営戦略（案）

8. 議事の概要

○会長、副会長の選出

甲賀市水道事業審議会条例第4条第1項の規定に従い、審議会委員の互選により、審議会の会長、副会長を選任。

その結果、会長に村山委員、副会長に大治委員が選任されました。

○出席委員数の報告

出席委員は8名で、委員の3分の2以上の出席であることから、甲賀市水道事業審議会条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告。

○甲賀市水道事業概要

事務局 「甲賀市の水道事業」（パンフレット）及び甲賀市の水道事業概要に基づき説明

○審議

事務局 ① 平成28年度甲賀市水道事業会計決算見込について
資料1に基づき説明

（質 疑）

委員 収益的収支で当初予定されていた黒字が2億円から3億9千万円に増えているが、黒字が増加した理由を説明してほしい。資料の中では「平成28年度の収益的収支については県用水受水費の減少等により」と書かれているが、県用水の受水費の予算は、元々8億8千万円ぐらいだったと思う。

事務局 決算見込の段階ですので概略になりますが、修繕費や動力費では予算の段階では多く見積もっており、その分が決算では大きく下回る見込みです。県用水の受水費は27年度に比べて約1億4千万円減となる見込みです。

委員 できれば当初予算から決算見込はこれだけ変わるという差額を書いていただくとわかりやすい。黒字が多くなるのは文句がないが、例えば予定していたより黒字が減った時は、こういう理由で費用が増えた等の説明の根拠が必要だと思う。

事務局 次回の審議会は7月に予定しています。その際は決算の説明をできる資料を添えてご説明をさせていただきます。

委員 決算の資料は27年度決算との比較になると思うが、28年度当初とどれだけ変わったかというのが必要だと思う。

委員 ご指摘のとおり、28年度予算と決算とでは、かなり黒字が増えたことになっている。結果的に黒字が増えて良かったのではなく、何がプラスだったのか、マイナスだったのか、個々に見ておく必要がある。

細かい話になるが、資料1ページの上のグラフでは右肩上がりで、下

のグラフは急激に落ちたように見えるが、実際の数字は横ばいである。グラフの縦軸のメモリ幅を工夫してはどうか。

2 ページの給水収益の推移のグラフは、消費税込みのグラフと消費税抜きのグラフは同じ動きをするのではないのか。

事務局 平成26年4月に消費税が5%から8%に上がったため、消費税分の収入が増えた分、給水収益の収入があがっているように見えますが、消費税抜きにすると実際の給水収益は減少しています。グラフの縦軸の幅ですが、見ていただきやすいようにしています。

事務局 ② 平成29年度甲賀市水道事業会計予算（案）の概要について資料2に基づき説明

（質 疑）

委員 委託料の項目は金額が大きい順に書かれているのか。

事務局 委託料の内訳は、施設運転管理業務委託196,193千円、水質検査業務委託は施設運転管理業務委託の中に含まれております。漏水調査業務委託3,000千円、上下水道料金等関連業務委託57,465千円、アセットマネジメント22,800千円です。

委員 金額の大きい順に並べてはどうか。
資本的収支のマイナス5億2,600万円は、過年度損益勘定留保資金で4億9千万円を補填するということであるが、今後、計画的な更新を行っていく際に、補填財源はどうか。

事務局 後程、経営戦略の収支計画で説明をさせていただこうと考えておりましたが、約10年間は留保資金と利益剰余金で補填していける計画です。ただ今後、県水の料金がどうなるか等の要因で変わってくる可能性もありますので、毎年確認をしながら、経営戦略自体は最低3年に1回は見直し、収支計画についても毎年しっかり確認をしていきます。

委員 県水の料金は県全体の需要量との関係で変わってくると思う。そこは戦略として、甲賀市が水道料金の値上げにつながらないようにする工夫が必要。

新聞でも水道管の老朽化が全国的に進んでいると報道されている。先ほどの説明では法定耐用年数40年の1.3倍で更新を計画されるということなので、命の水が途切れるということがないようによろしく願いたい。

委員 平成29年度予算はこれをやるのだという、何か特徴的なものがあれば教えてほしい。

事務局 平成28年度と29年度にかけてアセットマネジメント策定に取り組んでおり、計画ができてから予算に反映していくこととなりますので、来年度の予算については今年度とほぼ変わらない内容になっています。

委員 平成28年度のアセットマネジメントの委託料はいくらか。

事務局 今年度は20,292千円です。

委員 資本的収支の支出は、ほとんどが工事費と思うが、資料6ページに書かれている工事と舗装復旧で、どれぐらいの予算額を見積もっているか。

事務局 配水区域連絡管整備が40,000千円、管路新設の甲南駅前線工事が12,000千円、施設更新が77,000千円、老朽管更新が368,000千円、舗装復旧が400,000千円です。

委員 最初から資料に金額を入れてもらうほうがわかりやすい。外部に出せない理由があるのか。

事務局 ご存じのとおり、平成29年度予算は昨日開会しました定例議会に上程しております。詳細については議会ではまだ説明していない状況ですので概要としての資料にさせていただきます。大変申し訳ございません。

事務局 出させていただくタイミングと内容が非常に難しいと思っております。決まってから全部お示ししても、事前に何も打診しなかったとなりますし、事前に意見をお伺いしたいということでは、概略でしかお示しできないというのが正直なところです。

委員 石綿管がまだ残っているということはないか。

事務局 いいえ、残っています。

委員 どれくらい残っているのか。

事務局 石綿管は約1.2kmだったと思います。

委員 優先的に交換をしていただかないといけない。

委員 確かこの質問は前回も出たと思うが、人体に影響はないという説明だったが。

事務局 無いです。撤去したり切ったりする際の粉塵が影響するのですが、通常の使用には問題ありません。

委員 いずれにしても優先順位を一番にあげてもらわないといけない。

委員 水圧で削れて稀に摩耗があっても、人体に影響のない範疇かもしれないが、早く更新した方がいい。何箇所あって、延べで1.2kmあって、こういう順序で交換していくという計画を立てておいた方がいい。

事務局 ③ 甲賀市水道事業経営戦略について
資料 3 及び甲賀市水道事業経営戦略（案）に基づき説明

（質 疑）

委員 この経営戦略は毎年見直されるのか。

事務局 決算が確定した段階で検証もしなければいけませんし、最低 3 年に 1 度は見直し、変更が必要になれば皆様にご意見をお伺いさせていただきます。来年度はアセットマネジメントを策定します。当然アセットマネジメントや水道ビジョンに関しては策定する段階で皆様にご意見をいただく必要があると思っています。

委員 国庫補助金は総務省か。

事務局 厚生労働省です。

委員 将来的に水道料金の改定もあり得るだろうという説明があったが、県内や近隣の伊賀市の水道料金がどうなっているのか、甲賀市は高いのか安いのか、比較できる資料が欲しい。

それと経営戦略の財政収支計画についても、甲賀市と同規模の市と比較検討するために、今後、他市の資料も揃えてほしい。

事務局 経営比較分析表には全国平均値と類似団体平均値が上がっています。当該値が甲賀市の数値で平均値は類似団体の平均値です。各グラフの右上にカッコ書きしてあるのが全国平均値です。

委員 これは総務省で示された様式か。

事務局 総務省で作成された様式です。

委員 類似団体というのは給水人口の規模か。県内ではどこか該当するのか。

事務局 類似団体は給水人口が 5 万人以上 10 万人未満の事業体です。

委員 給水原価は、全国平均が 164 円で甲賀市は 202 円と高い。

事務局 水道料金は滋賀県内 19 市町で 4 番目に高いです。

委員 県水の料金が下がってもまだ原価が高いのはなぜか。

事務局 基本的には自己水の方が安いというのと、動力費や薬品費等の維持管理費用がかかっています。

委員 ダムの水は使っていないのか。

- 事務局 ダムの水利権は取得しています。
- 委員 水源の区分でダムにチェックがないが。
- 事務局 ダムから直接ではなく、河川の表流水としています。
- 委員 パンフレットに施設一覧があるが、今後統廃合の計画はあるか。
- 事務局 施設の統廃合についてもアセットマネジメントの中で計画していきます。
- 委員 様々な要因で地下水位がかなり変化していると思うが、今現在、心配される水源地はあるか。
- 事務局 具体的にいうと甲賀で若干水位が変わってきています。
- 委員 晴天が続いたらどうされているのかと心配している。
- 委員 質問ではないが、経営戦略の2枚目の将来の事業環境の(2)水需要の予測で、「平成27年度の有収水量は11,329千 m^3 で平成26年度と比較して20,505千 m^3 の減少」とあるが、桁が全然違う。0.16%も違うと思うので確認をお願いしたい。
- 事務局 修正させていただきます。
- 委員 決算見込と予算案概要の資料の数字と、経営戦略に出ている数字が違うがこれで良いのか。
それと、経営比較分析表の1か月20 m^3 あたりの家庭料金の数字も違っているのでチェックをお願いしたい。
- 事務局 予算と収支計画の数字の違いにつきましては、経営戦略の収支計画は消費税抜きで表示させていただいています。
- 委員 水質検査は委託されているが、報告の数字は正しい数値か。
- 事務局 検査機関も法律でしっかり縛られています。ちゃんとした器具を利用して、それを認められて初めて委託される機関として国から認定を受けています。精査する方法、検証する方法から報告する方法まで国の監査が入りますのでそこは信用しています。
- 委員 安全で安心して飲める水が供給されるというのは法律で確保されているのはわかるが、たまには疑ってみるぐらいの気持ちを持ってチェックを入れることも必要ではないか。水質については抜かりのないようお願いしたい。
- 事務局 施設の毎日点検も実施していますし、メダカを飼って監視している施設もあります。十分備えはしたいと思います。

委員 年間の水質検査費用はいくらか。

事務局 約3千万円です。

○会議内容の公開又は非公開について

事務局 本日の会議内容の公開、非公開は、資料に個人情報等の非公開にしなければならない案件は含まれていませんので、すべて公開としたいと思っております。議事録の発言については個人名ではなく、委員として記載して公開させていただきます。